





### 本体パネルのはしつかた・取り付けかた

必ずコネクタカバーの中継コネクタ(黒)をはずして、本体パネルを取りはずしてください。  
※本体パネルをはずすときはエアコンの運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**<はずしかた>**  
1) 前面パネルをはずし、エアフィルター(2枚)をはずします。

2) 本体パネル固定ねじ(3本)とコネクタカバーをはずします。  
コネクタカバーをはずし、Fケーブルコネクタ右側に収納されている中継コネクタ(黒)をはずします。

3) 本体パネル上面の引掛爪(4カ所)をはずします。  
上側の引掛爪(4カ所)

4) 本体パネルの高側面を手に引きながら、右手の親指で電気部品箱を押してください。

**<取り付けかた>**  
1) 本体パネル上面の引掛爪(4カ所)を後板に引掛け、吹出口下部中央の1カ所を奥に向かって押し込みます。

2) 本体パネル固定ねじ(2本)を締め付けます。  
3) 前面パネル、エアフィルター(2枚)を取り付けます。  
コネクタカバーの中継コネクタ(黒)を接続します。

### HA端子について

HA端子は、室内ユニットのメイン基板にあります。HA端子を使用する場合は、下記の作業順序で行ってください。

- 1) 本体パネルをはずします。
- 2) Fケーブルコネクタカバーをはずします。
- 3) 電気部品箱カバーをはずします。
- 4) メイン基板のHA端子(CN91)にHAコネクタを接続します。
- 5) 各部品を取り付けます。

### 据付板の固定について

#### 据付板を壁に直付けする場合

1. 据付板は最上部両端と下部の引掛部付近を必ずねじ締めしてください。
2. 表(おもて)面の据付板のように据付板の周囲は間隔をあけ、壁内の構造材をさがして水平に取り付けます。(6カ所以上をねじで固定してください。)
3. 据付板の水準器置台に水準器をのせて水平を確認します。
4. 埋込ボルトを利用するときは、右図のように埋込ボルト用穴を利用して固定します。(埋込ボルトの出張り寸法は15mm以下にしてください。)

#### 石こうボードに据え付ける場合

石こうボードの厚みに合ったカサ式ボードアンカーを使用してください。

- 付属の据付板取付ねじは使用しないでください。
- ねじ込み式ボードアンカーは使用しないでください。

#### 回り縁と鴨居を利用する場合

市販の据付板をお使いください。

### 気密試験について

気密試験を行う場合は、下記の手順で実施してください。

- 室外ユニットのサービスバルブの弁棒は、液側・ガス側共に全開のままで試験します。

**試験手順**

- ① チャージロと窒素ポンペをつなぎ、窒素ポンペのバルブを少しづつ開け、圧力計が4.17MPaになるまで配管内にゆっくり窒素ガスを封入する。
- ② 窒素ポンペのバルブを閉め、圧力計で圧力低下がないことを確認する。
- ③ 圧力低下がない場合、配管内の窒素を放出し10.エアバージ(表面)を行う。

**警告** ● 酸素ポンペは使用しない  
発火・破裂の原因になります。

### 据付後の取りはずし(移設時など)について

#### 室内ユニット

室内ユニット下側の「PUSH」を上押ししながら手前に引きます。

#### 室外ユニット

地球環境保護の観点から、ポンプダウン(冷媒回収)をしてから取りはずします。

**警告** ● ポンプダウン作業では、次のことを確実に行う  
● 冷凍サイクル内に空気を混入させない  
● サービスバルブを2つとも閉じたあと、圧縮機を停止させ冷媒配管をはずす  
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、けがなどの原因になります。

#### ● ポンプダウンのしかた(移設時など)

- ① 室内ユニットの「自動運転」ボタンを押して強制冷房運転をします。
- ② 5分~10分後に液側サービスバルブの弁棒を閉めます。
- ③ さらに2分~3分冷房運転後ガス側サービスバルブの弁棒を閉め、運転を停止します。
- ④ 液側とガス側の接続配管を取りはずします。